



全国のご支援に、教訓伝えて恩返し
大船渡市 新沼真弓さん



「ライフラインが停止しているときでも、すぐにビタミン・ミネラルを補える備蓄食が必要！」

大船渡市の新沼

真弓さんは、2011年の震災の経験で、食料備蓄の大切さを再認識したそうです。「健康優良児だった友人や友人のお子さんが避難所生活が長期化するにつれ、風邪をひきやすくなったり、口内炎がなかなか治らない状況を目の当たりにしました。災害時には、備蓄の食料やそのとき調達できた食料でお腹を満たすことになるため、どうしても主食がメインの食事が続き、慢性的なビタミン不足に陥ります。様々なストレスがかかる災害時にこそビタミン・ミネラルが補える食料備蓄の必要性を強く感じました。」

そのような環境下でも、世代を問わずビタミン・ミネラルを補える食料はないものだろうか...と思索していた時ふっと思ひ浮かんだのが、幼い頃より慣れ親しんだ陸前高田産の米崎りんごでした。

さんりくチャレンジ® 倶楽部
Vol.001
2016年
11月号



りんごは「1日1個で医者いらず」といわれる食品。それを乾燥加工し、携帯できる備蓄食として、商品化することにしました。過去の津波からみると、三陸は平均3.5年周期で大きな津波がくる地域。3・11の食の教訓を次世代へ、そして災害大国といわれる日本、一人でも多くの方へ伝えていきたいという想いもあり、2014年に乾燥フルーツConeComeを立ち上げました。

軽量でかさばらない乾燥フルーツは、携帯するにも便利。しかも乾燥フルーツは、ビタミン・ミネラル・食物繊維が豊富で美容や健康にも役立ちます。「常備」×「美容・健康に良い」×「備蓄食」ということから、商品のコンセプトは常「美」蓄。いざというときに役立つ美容食。今後も様々なフルーツで展開していくつもりです！」

日頃からカバンやオフィスの机にしのばせて、小腹が空いたときや運転中などに質の良い間食として、乾燥フルーツを食べる。そんな新沼さんの想いが定着する日は、遠くないかもしれません。新沼さんはこれらの事業を通じて、全国からいただいたご支援と、地元である三陸地域へ恩返しできることを目指しています。【問合せ先】乾燥フルーツConeCome 岩手県大船渡市大船渡町明神前 0192,26,2357

さんりくチャレンジ® 倶楽部
さんりくチャレンジ だより
秋が近づき、だんだんと肌寒い日も増えてきました。お仕事は体が資本。体調を崩さないよう乗り切りましょう。
さて、さんりく未来推進センターでは、この程、「コミュニケーションカフェ（事業者交流会）」の一環として、「さんりくチャレンジ倶楽部大忘年会（仮）」の企画を進めています。開催日は12月3日、開催地は宮古市内を予定しています。起業年度を同じくする仲間、また新しくさんりく地域で事業を始めた、あるいは起業を目指す方と交流を深めていただく良い機会になるよう企画してまいりますので、ぜひご参加下さい！
問い合わせは下記、事務局まで。